



## 「第25回働くものの学習交流集会 in 愛媛」参加報告

11月22～23日にかけて、愛媛県伊予市にて「働くものの学習交流集会 in 愛媛」が開催され、徳島労連青年部長のリハビリテーション科坂本竜二郎さんと、乾書記長が参加しました。「働くものの学習交流集会」とは、全労連四国地区協議会や労働者学習協会（学習協）が主催となって、ゲームや食事などの交流と学習企画を行い労働者としての意識や知識を高める集会で、毎年四国の各県持ち回りで開催しており、しかも青年組合員中心に運営されています。

今回はレクリエーションとして、チームに分かれて「モルック」をやりました。「モルック」は木の棒を投げて数字の書かれた木のピンを倒し、その点数を競うゲームです。ほとんどの人が初体験でしたが、体力に関係なく誰でも参加でき、目標点数ぴったりになるようにどう倒していくかチームで戦略を立てていくことが求められるゲームで、皆すぐにハマりました。



2日目は学習企画として、大阪府関係職員労働組合の小松康則さんによる講演とワークショップを行いました。小松さんはコロナ禍で保健所の職員が疲弊していく中で、保健師の実情を訴えて増員を呼び掛ける世論喚起のキャンペーンを展開した役員さんで、コミュニティオーガナイズを取り入れた手法と学びは全国でも広がっています。小松さんの経験を話してもらって合間にグループトークを交えながら、労働組合がなぜ必要か、要求を実現するために組合員の力を集めて運動にしていくには何が必要か、活発に話し合われました。各グループで話し合

ったことをシェアしあい、学ぶことが多い機会となりました。

来年は高知県で開催される予定です。四国の仲間と学び、遊び、交流できるまたとない機会です。詳細が決まれば案内しますので、大勢で参加しましょう！

### 坂本竜二郎さんの感想

働くものの学習交流会には何度か参加した事がありました。ただ現地開催での参加は久しぶりだったので少し緊張していました。時間が経つにつれて参加者と交流する中で緊張がほぐれていき、楽しい時間を過ごす事ができました。過去の交流会でまだ話をした事がなかった方や、自分と同じ理学療法士として働いている方といろいろ話をする事ができて良かったです。

